

堺市での子育て支援を公・民4者のコラボレーションにより推進

堺市・厚生労働省大阪労働局・高島屋と連携した子育て支援事業を来年4月より開始

～「子育てのまち・堺」を象徴する支援施設「(仮称)キッズサポートセンターさかい」を開設～

子どもの健全な成長に寄与することを目的に教育玩具・遊具の輸入・開発・販売と遊び環境開発を行う株式会社ボーネルンド(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:中西弘子)は、大阪府堺市、厚生労働省大阪労働局、株式会社高島屋の3者とともに、堺市での子育て支援サービス事業実施に関する基本協定を締結しました。この協定をもとに、2014年4月に高島屋堺店9階に開設予定の子育て支援施設「(仮称)キッズサポートセンターさかい」の整備・運営を、堺市・高島屋とともに実施し、隣接するハローワーク堺マザーズコーナーとの連携を行います。民間企業・地方自治体・国が一体となった子育て支援として、全国でも類を見ない、画期的な取り組みとなります。

堺市では、「子育て支援の充実・強化」を重点プロジェクトのひとつに掲げ、子ども医療費助成の対象拡充や待機児童の解消など、様々な取り組みを行っています。一方で、子ども・親同士のあそび・交流の機会や場が減少していることなどから、更なる子育て支援の強化策として、このたび、堺市の玄関口・堺東駅前に位置する高島屋堺店の9階を、丸ごと子育て支援をおこなうフロアとしてリニューアル。「『親と子の成長』を支える、『集い・遊び・学ぶ』子育て支援施設」をコンセプトに、公共と民間の4者が協働し、子育てと子育て中の女性の就労を支援していくこととなりました。

■ 今回の協定における、当社の主な業務内容

「(仮称)キッズサポートセンターさかい」内に民間事業として設置する「ボーネルンドあそびのせかい」を運営します。「ボーネルンドあそびのせかい」は、親子一緒に運動やあそびを楽しめ、子どもの“こころ・頭・からだ”のバランスがとれた発育をサポートする室内あそび場「キドキド」と、世界のあそび道具を提案販売するショップを合体させた複合施設です。室内あそび場「キドキド」は現在全国18箇所、年間200万人を超える親子が来場する、地域の子育てに必須な施設として支持されています。



キドキド設置遊具「エアトラック」(左)、「サイバーホイール」(右)

■「(仮称)キッズサポートセンターさかい」イメージパース



今回の協働は、子どもが遊び育つことができる豊かなあそび場を社会インフラとすることを目標にする当社にとって、その実現に向けた大きな一歩と考えております。この堺市での取り組みを契機に、今後も子育ての現代的課題解決に向けたあそび場づくりの取り組みを拡大・発展して参ります。

「キドキド」について

当社は、子どもの遊び場の減少や身体能力の低下といった社会問題解消に向け、健全なからだづくりの基礎を育めるインドアプレイグラウンド「キドキド」を展開しています。本施設は、通常保育と比較して歩数が約1.5倍、跳ねる・転がる・くぐるなどの動きの多様性は約2倍という高い運動効果や、子ども自身の高い満足度などからリピーターも多く、来場者数は好調に推移しています。

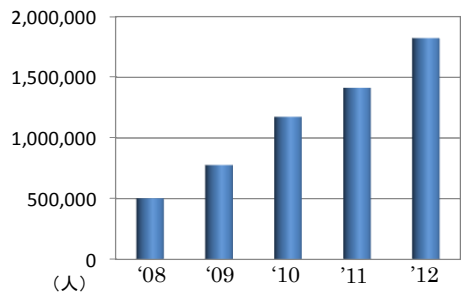
運動効果の実測データグラフ

A: 通常保育 B: キドキド



※山梨大学教育人間科学部 中村和彦准教授 (現教授) による調査

「キドキド」の年間来場者数推移



【ボーンランドについて】

ボーンランドは、あそびを通して子どもの健全な成長に寄与するため1981年に設立し、一貫して“あそびの道具と環境”を提供する事業を展開。一般家庭へ向け、子どもの成長に必要な生活道具としての“あそび道具”を提案、全国 91 カ所で店舗を展開しています。同時に幼稚園や保育園、公園などに高品質な大型遊具や教育道具の提供を含めたあそび環境の開発を行っており、現在までに手掛けた実績は国内約 3 万カ所まで拡大しています。また、2004 年からは、子どもが遊ぶ機会を増やすために、親子一緒に様々なあそびを体験できる室内あそび場「キドキド」事業をスタート。現在全国 18 箇所、年間 200 万人以上の親子が訪れています。

《報道関係の方のお問い合わせ先》

株式会社ボーンランド 広報室
 担当：讃井、村上
 T E L : 03-5785-0860 / 080-5901-3591
 E-mail : sanui@bornelund.co.jp

株式会社プラップジャパン
 担当：五味淵、古澤、山口
 T E L : 03-4580-9104
 E-mail : bornelund@ml.prap.co.jp

《一般の方のお問い合わせ先 (ご掲載用)》

株式会社ボーンランド TEL : 0120-358-518